

## 教科指導交流

6月23日（木）6校時、今年度の小中一貫交流事業の1回目となる「教科指導交流」を行いました。授業は、外国語専科の〇〇先生による、6年3組の外国語でした。中央中学校からは、1年生の英語教諭である◇◇先生が来校しました。

### Lesson 2 『My town is beautiful!』「おすすめの場所をたずね、それを紹介するシートを作ろう」



「My favorite place is \_\_\_\_\_. We can \_\_\_\_\_ .」

〇〇先生と△△先生による会話のお手本を聴く、発音の練習をする、友達同士でおすすめの場所を紹介し合う、といった活動を前半に行いました。



後半は、タブレットの Google スライドを使い、おすすめの場所を紹介するページを作りました。どの子もタブレットの扱いに慣れており、積み重ねの成果が感じられました。

次時以降で、発表の練習、グループによる発表を行う予定です。

## 授業後の意見交換から

### 小学校外国語と中学校英語の違い

- ▶ 小学校はコミュニケーションが中心。「聴く・話す」活動を十分に行っている。「書くこと」も入ってきたが、文字を扱いすぎず慣れ親しむ程度に。週2時間の中で、バランスよく扱うことの難しさがある。
- ▶ 中学校では、「読むこと」「書くこと」も重視される。現中1は、発音や会話が上手だが、文字を「読む」「書く」活動になると、途端に戸惑う様子が見られる。フォニックスを用いて、スペルと発音をつなげる指導に時間をかけている。

### 小中接続の視点から

- ▶ 数年前と比較し、小学校段階で「聴く力」「コミュニケーションスキル」は、かなり高まっている。身に付けたスキルを、中学校ではどのような生かし、育てていくのか。
- ▶ 外国語専科による授業で、小学生のレベルをある程度の水準で揃えることができているため、中学校の授業がやりやすくなっている。子どもの反応がとても良い。
- ▶ どの教科でも、好き嫌いが生まれるのは当然のこと。小学校では、楽しみながら英語に親しませ、好きの割合を増やす努力をしている。

